

22年ぶり2頭目 無敗の三冠馬誕生

東京シティ競馬(TCK)所属のミックファイア号(渡邊和雄きゅう舎)が、令和5年7月12日(水)に大井競馬場で行われたジャパンダートダービー(JpnI)を見事勝利し、2001年のトーシンブリザード号以来22年ぶり2頭目となる無敗での南関東3歳クラシック三冠を達成しました。

南関東3歳クラシック初戦の羽田盃、第2戦の東京ダービーをそれぞれレースレコードで制しジャパンダートダービーに臨んだミックファイア号。逃げ馬を好位で見ながらレースを進め、4コーナー過ぎから徐々にポジションを押し上げると、残り100m付近で先頭に立ち見事1着でゴール。3レースすべてでコンビを組んだ御神本訓史騎手とともに三冠馬の栄冠に輝きました。

ジャパンダートダービーは、全日本的なダート競走の体系整備に伴い2024年からはジャパンダートクラシック(JpnI)へ名称を変更し10月上旬の秋開催へと移行されます。ミックファイア号は、南関東3歳クラシック(旧三冠体系)では最後の無敗の三冠馬となりました。

